



FIBER

The Society of Fiber Science and Technology, Japan

繊維学会誌

||| 繊維と工業 ||| Reviews and News

特集〈今、新しいシルクの話(1)〉

||| 報 文 ||| Original Articles

日本化学繊維協会 Web サイトのご案内

日本化学繊維協会では“化学繊維”に関する情報発信の一環としてWebサイトを開設しています。

日本化学繊維協会では“化学繊維”に関する情報発信の一環としてWebサイトを開設しています。

2015年版
繊維ハンドブック

この1冊があなたの仕事を助けます。
業界人必携の最新繊維データバンク

- 日本と世界の繊維原料からテキスタイル、アパレル、消費まで、特に発展する東アジアのデータを充実
- 全繊維、全加工段階を網羅・収録

<http://www.jcfa.gr.jp/>

「繊維ハンドブック」(統計資料集)も
Web からご注文いただけます。



ママと赤ちゃんに愛されて

30周年 Merries
メリーズ



赤ちゃんの笑顔は、
「心も肌も気持ちいいよ!」というメッセージ。
「通気性」へのこだわりは進化を続け、
いま、メリーズだけの《さらさらエアスルー》へ。

空気が
す〜と通り抜けて



いや〜なムシを逃がす



メリーズはテープタイプで
もっとも選ばれています。

※インテージSRI調べ ベビー用紙おむつ市場
テープタイプ内ブランド別金額・個数シェア
7年連続No.1 (2006年10月〜2013年9月)



新生児 S M L

赤ちゃんが笑うと、みんなが笑顔に。そんな幸せを、これからもお届けします。

その笑顔のために。
肌へのやさしさにこだわって30年。

国際会議・国内学会運営・同時通訳・翻訳・印刷の (株)プロコムインターナショナル

昨年(2014年)に開催されました、
繊維学会創立70周年記念事業 繊維の科学と技術に関する国際シンポジウム
International Symposium on Fiber Science and Technology 2014 (ISF2014) の
会議運営をお手伝いさせていただきました。

会場：TFT ホール(東京江東区有明)



学術論文・学会抄録・レポートなどの 日英翻訳・英文ネイティブチェックを承ります

**全国の大学・研究施設を中心に企業・病院など
多数ご利用いただいております。**

札幌医科大学／弘前大学／秋田大学教育文化学部／秋田総合教育センター／東北大学／筑波大学大学院／自治医科大学／筑波大学／千葉大学工学部／日本大学／日本医科大学／杏林大学／明海大学／国際医療福祉大学／昭和大学／東京大学工学部／東京女子医科大学／東京医科歯科大学／東京海洋大学／日本大学医学部／日本体育大学／早稲田大学理工学部／獨協大学国際交流センター／日本体育大学／昭和女子大学／上智大学／東海大学／神奈川県温泉地学研究所／横浜市立大学／横浜国立大学／聖マリアンナ医科大学／山梨大学／新潟青陵大学福祉心理学科／新潟大学人文学部／金沢大学／石川県立看護大学／岐阜大学／浜松医科大学／中部大学／南山大学／大阪市立大学／大阪大学／大阪大学産業科学研究所／大阪学院大学／近畿大学／兵庫県立大学／神戸学院大学薬学部／神戸大学医学部／藍野大学／滋賀医科大学／京都大学霊長類研究所／京都大学農学部／京都府立医科大学／奈良県立医科大学／三重大学医学部／川崎医科大学／鳥取大学／島根大学／岡山大学大学院／岡山大学医学部／広島大学／広島市立大学／山口大学農学部／徳島大学／高知大学／愛媛大学／九州大学医学部／久留米大学医学部／佐賀大学医学部／長崎大学医学部／熊本大学医学部／熊本機能病院／宮崎大学医学部／電子開発学園九州 他

■株式会社プロコムインターナショナル

〒135-0063 東京都江東区有明三丁目6番地11 TFTビル東館9階 TEL:03-5520-8821 FAX:03-5520-8820 URL: www.procom-i.co.jp

無料お見積りサービス実施中!! 翻訳・英文校正サービス

www.procom-i.co.jp/translation.html
Email: translation-center@procom-i.co.jp

“繊維”を 知りたい！ 信州大学 繊維学部発 学びたい！ テキスタイル工学のバイブル完成！！

最新テキスタイル工学 I 最新テキスタイル工学 II

— 繊維製品の心地を数値化するためには —

— 繊維製品に用いられている糸、布とは —

- ▶ 人材育成・教育用に
- ▶ 技術開発・商品企画に
- ▶ 産学官連携へのアプローチに

次代に継承する繊維技術を網羅した全2巻
今すぐご活用ください！！

● 編 著： 西松 豊典
(信州大学 繊維学部 教授)

最新テキスタイル工学 I
● 販 価 2,900 円
(本体 2,500 円+税 200 円+送料 200 円)
最新テキスタイル工学 II
● 販 価 3,440 円
(本体 3,000 円+税 240 円+送料 200 円)

本書の内容

最新テキスタイル工学 I

— 繊維製品の心地を数値化するためには —

● A5判 220ページ カバー巻き

はじめに

第1章 背広服(スーツ)の「着心地」を数値化するには

……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
教授 西松 豊典

- 1.1 はじめに
- 1.2 服飾史に見る背広服
- 1.3 「着心地 (clothing comfort)」とは
- 1.4 背広服上衣の「着心地」を数値化するには
- 1.5 おわりに

第2章 「快適性(心地)」を評価する官能検査とは

……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
教授 西松 豊典

- 2.1 人間快適工学とは
- 2.2 感性情報とは
- 2.3 視覚と触知覚について
- 2.4 官能検査を行うには

第3章 シミュレーション

……信州大学 繊維学部 感性工学課程
教授 乾 滋

- 3.1 シミュレーションとは
- 3.2 テキスタイル・衣服のシミュレーション

第4章 生理的機能量の測定

……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
准教授 金井 博幸

- 4.1 はじめに
- 4.2 生理的機能量とその役割
- 4.3 生理的機能量の分類
- 4.4 心電図
- 4.5 脳 波
- 4.6 筋電図

第5章 繊維製品の物理量を測定するには

……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
教授 木村 裕和

……(5.6 嗅覚に関連する物理量の測定)
信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
准教授 金井 博幸

- 5.1 はじめに
- 5.2 測定とは
(感度、精度、有効数字、測定回数)
- 5.3 触知覚に関連する物理量
(機械的性質)の測定
- 5.4 触知覚に関連する物理量
(機能的特性)の測定

- 5.5 視覚に関連する物理量の測定
- 5.6 嗅覚に関連する物理量の測定
- 5.7 工業規格類を利用する際の留意事項

第6章 繊維製品の「心地」と物理量の関係は多変量解析で

……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
教授 西松 豊典

- 6.1 はじめに
- 6.2 相関分析とは
- 6.3 主成分分析
- 6.4 重回帰分析

索 引

最新テキスタイル工学 II

— 繊維製品に用いられている糸、布とは —

● A5判 320ページ カバー巻き

はじめに

第1章 繊維製品

……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
教授 木村 裕和

- 1.1 はじめに
- 1.2 アパレル製品
- 1.3 スポーツウェア
- 1.4 高齢者用衣料品
- 1.5 インテリア製品
- 1.6 ジオテキスタイル
- 1.7 自動車用関連製品
- 1.8 医療関連製品

第2章 繊維原料

……福井大学 大学院工学研究科
教授 田上 秀一

……福井大学 大学院工学研究科
講師 植松 英之

……信州大学
名誉教授 松本 陽一

……(株)AOKI 商品開発室長
室長 柴田 清弘

- 2.1 はじめに
- 2.2 繊維原料の歴史
- 2.3 天然繊維
- 2.4 化学繊維
- 2.5 今後の繊維材料の課題

第3章 紡績工学

……信州大学
名誉教授 松本 陽一

- 3.1 はじめに
- 3.2 糸づくりの歴史
- 3.3 よい糸の条件
- 3.4 糸の表示方法
- 3.5 糸の分類と種類
- 3.6 紡績工程

- 3.7 糸の試験方法と糸むらの評価方法
- 3.8 新しい紡績技術の開発
- 3.9 課 題

第4章 製布工学

……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
教授 西松 豊典

……東京都立産業技術センター
多摩テクノプラザ 所長 近藤 幹也

- 4.1 はじめに
- 4.2 布の歴史
- 4.3 皮 革
- 4.4 合成皮革と人工皮革
- 4.5 織物について
- 4.6 編物(ニット)
- 4.7 織物分解、編物分解
- 4.8 不織布
- 4.9 課 題

第5章 染色加工・機能加工

……信州大学 副学長 繊維学部長
教授 濱田 州博

- 5.1 はじめに
- 5.2 染色の歴史
- 5.3 染料と染色加工
- 5.4 染色加工の前処理(準備工程)
- 5.5 染色性の評価法
- 5.6 仕上げ加工・機能加工

第6章 衣服の設計と生産

……信州大学 国際ファイバー工学研究所
教授 高寺 政行

……信州大学 国際ファイバー工学研究所
助教 金 屋

- 6.1 はじめに
- 6.2 既製服の設計・生産
- 6.3 既製服の設計
- 6.4 生地と副資材の選択
- 6.5 衣服のターゲットとサイズ
- 6.6 衣服のデザイン要素
- 6.7 パターン設計
- 6.8 既製服の生産
- 6.9 CAD・CAMとシミュレーション

第7章 衣服の洗濯

……ライオン(株) ファブリックケア研究所
蓼沼 裕彦

……ライオン(株) ファブリックケア研究所
宮原 岳彦

- 7.1 はじめに
- 7.2 衣服の汚れ
- 7.3 家庭用洗濯洗剤と漂白剤
- 7.4 おしゃれ着洗濯
- 7.5 衣服用仕上げ剤
- 7.6 おわりに

第8章 日本の繊維産地

……地方独立法人 大阪府立産業技術研究所
山本 貴則

索 引

お申し込みは — 電話 / HP / E-mail で！



株式会社 繊維社 企画出版

〒541-0056

大阪市中央区久太郎町1-9-29 (東本町ビル5F)

Tel. (06) 6251-3973 Fax. (06) 6263-1899

E-mail: info@sen-i.co.jp http://www.sen-i.co.jp

繊維学会誌

平成 27 年 2 月 第 71 巻 第 2 号 通巻 第 827 号

目 次

繊維と工業(Reviews and News)

- 【時 評】 大学間連携と学会 濱田 州博 ... P-65
- 【特 集】 〈今、新しいシルクの話(1)〉
- 世界文化遺産・国宝 官営期における富岡製糸場の歴史と文化
- ー特に後半期における経営方針の転換ー 今井 幹夫 ... P-66
- 日本を支えた生糸その技術開発と生糸品質 高林 千幸・清水 重人 ... P-71
- 絹糸と絹手織物文化ー手織物生産現場からの報告ー 行松 啓子 ... P-80
- 【連 載】 〈知的財産権ー4〉
- 新しいタイプの商標制度について
- HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK ... P-84
- 〈溶融紡糸の原点〉
- 溶融紡糸の原点(10) 小野 輝道 ... P-86
- 〈業界マイスターに学ぶせんいの基礎講座ー5〉
- 第2編 糸の基礎知識 安部 正毅・松本 三男 ... P-90
- 【繊維学会創立70周年記念連載】 〈技術が支えた日本の繊維産業ー生産・販売・商品開発の歩みー17〉
- 綿紡織業の盛衰(4) 松下 義弘 ... P-98
- 【海外ニュースレター】 P-109

報 文(Original Articles)

- 【一般報文】 Influence of Addition of Fine Cellulose Fibers on Physical Properties and Structure of Paper
- Ryota Kose, Kouki Yamaguchi, and Takayuki Okayama ... 85
- Preparation of Chain-Extended Poly(hexamethylene/pentamethylene carbonate)s and Their
- Block Copolymerization with Poly-L-lactide into Partly Biobased Thermoplastic Elastomers
- Shuhei Kanmuri, Koji Kobayashi, Yoshiharu Kimura, and Kazunari Masutani ... 91
- The Effect of Non-Aqueous Coagulation in the Structure of Poly-*p*-phenylenebenzobisoxazole
- (PBO) Fibers Tooru Kitagawa, Hideki Sugihara, and Masayuki Tsutsumi ... 105
- パーマメントウェーブ処理におけるチオグリコール酸還元後の水洗による毛髪内ジスルフィド
- 架橋の再生機構 鈴田 和之・濱田 州博・新井 幸三 ... 112

Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 71, No. 2 (February 2015)

Contents

[Reviews and News]

〈Foreword〉

Inter-University Collaboration and Academic Society Kunihiro HAMADA ... P-65

〈Special Issue on Silk, the New Perspectives (1)〉

World Heritage Site. National Treasure

The History and Culture of the Tomioka Silk Mill during Government-Operated Period

– Focusing on Change in Management Policy during Latter Part of This Period –

..... Mikio IMAI ... P-66

The Raw Silk Established the Basement of Modernization of Japan, the Development of

Silk Technology and the Raw Silk Quality ... Chiyuki TAKABAYASHI and Shigeto SHIMIZU ... P-71

Silk Yarn and Hand-Weaving Culture – A Report from a Hand-Weaving Production Area –

..... Keiko YUKIMATSU ... P-80

〈Series on Intellectual Property Right-4〉

Introduction to New Types of Marks HARA KENZO WORLD PATENT & TRADEMARK ... P-84

〈Series on Origin of Melt-Spinning Technology〉

Origin of Melt-Spinning Technology (10) Terumichi ONO ... P-86

〈Series on Fiber Basic Course Lectured by Professional Engineers-5〉

Basic Knowledge of Yarn Masaki ABE and Mitsuo MATSUMOTO ... P-90

〈Series of Historical Reviews of Japanese Textile Industry Supported by the Technology

– History of the Production, Sales, and Product Development-17〉

Rise and Fall of Cotton Spinning and Weaving Industries (4) Yoshihiro MATSUSHITA ... P-98

〈Foreign News Letter〉 P-109

[Original Articles]

〈Transactions〉

Influence of Addition of Fine Cellulose Fibers on Physical Properties and Structure of Paper

..... Ryota KOSE, Kouki YAMAGUCHI, and Takayuki OKAYAMA ... 85

Preparation of Chain-Extended Poly(hexamethylene/pentamethylene carbonate)s and Their

Block Copolymerization with Poly-L-lactide into Partly Biobased Thermoplastic Elastomers

..... Shuhei KANMURI, Koji KOBAYASHI, Yoshiharu KIMURA,
and Kazunari MASUTANI ... 91

The Effect of Non-Aqueous Coagulation in the Structure of Poly-*p*-phenylenebenzobisoxazole

(PBO) Fibers Tooru KITAGAWA, Hideki SUGIHARA, and Masayuki TSUTSUMI ... 105

Reproduction Mechanism of SS Cross-Links in Permed Hair by the Washing after Reduction

with Thioglycolic Acid Kazuyuki SUZUTA, Kunihiro HAMADA, and Kozo ARAI ... 112

Sen'i Gakkaishi

(*Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan*)

Vol.71 No.2

February 2015

CONTENTS OF ORIGINAL ARTICLES EDITION

[Transactions]

- Influence of Addition of Fine Cellulose Fibers on Physical Properties and Structure of Paper
..... Ryota Kose, Kouki Yamaguchi, and Takayuki Okayama ... 85
- Preparation of Chain-Extended Poly(hexamethylene/pentamethylene carbonate)s and Their
Block Copolymerization with Poly-L-lactide into Partly Biobased Thermoplastic Elastomers
..... Shuhei Kanmuri, Koji Kobayashi, Yoshiharu Kimura, and Kazunari Masutani ... 91
- The Effect of Non-Aqueous Coagulation in the Structure of Poly-*p*-phenylenebenzobisoxazole (PBO) Fibers
..... Tooru Kitagawa, Hideki Sugihara, and Masayuki Tsutsumi ... 105
- Reproduction Mechanism of SS Cross-Links in Permed Hair by the Washing after Reduction
with Thioglycolic Acid
..... Kazuyuki Suzuta, Kunihiro Hamada, and Kozo Arai ... 112

Published by

Sen'i Gakkai (The Society of Fiber Science and Technology, Japan)

3-3-9-208, Kami-osaki, Shinagawa-ku, Tokyo 141-0021, Japan

繊維学会誌「報文」活性化と正確な引用文献表記をお願い致します — 繊維学会誌引用の際は“Sen’i Gakkaishi”と表記してください —

繊維学会誌では論文誌としての価値を高めて、より一層会員の皆様、投稿者の皆様に貢献したいと考えております。

これまで以上に積極的な御投稿をお願い申し上げますとともに、本誌を含め各種学術雑誌に研究成果を御発表されます場合には、繊維学会誌の積極的な引用についても併せてお願い申し上げます。

特に引用を頂く際には、誌名の正確な綴りにもご留意いただきますようお願いいたします。現在の繊維学会誌「報文」は、“Sen’i Gakkaishi”(n と i の間はアポストロフィでハイフンではありません)の表記をお使いいただきますようお願いいたします。

投稿時の体裁変更のお知らせ

これまで、投稿していただく際にカメラレディー形式に整えていただくことをお願いして参りましたが、今般印刷システムの見直しにより、カメラレディー形式での投稿は必須ではなくなりました。

テキストデータ、図表データを別々のファイルでご用意いただき、図表の差し込み位置が分かるように本文中に示していただければ、ペタ打ちで投稿いただけます。図、写真は jpeg 形式で、表はテキスト情報が抽出可能な word 等で作成してください。その際本文は A4 判に 10.5 から 12 ポイントのサイズで、改行幅は 1.5 行程度に設定してください。

また、図表のレイアウトや大きさなど著者の体裁上のご希望を予めお伝えいただけ、ページ数の見積もりも可能なため、これまで同様カメラレディー形式に整えていただいても結構です。カメラレディーひな形はホームページからダウンロードしていただけます。

投稿の際の負担を軽減することで、より迅速快適に研究成果をご発表いただけるようになりました。今後とも繊維学会誌への積極的なご投稿をお待ちしております。

「報 文」編集委員 Sen’i Gakkaishi, Editorial Board

編集委員長 Editor in Chief	髪 谷 要(和洋女子大学大学院) Kaname Katsuraya	編集副委員長 Vice-Editor	塩 谷 正 俊(東京工業大学大学院) Masatoshi Shioya
編集委員 Associate Editors	河 原 豊(群馬大学大学院) Yutaka Kawahara	木 村 邦 生(岡山大学大学院) Kunio Kimura	久保野 敦 史(静岡大学) Atsushi Kubono
	澤 渡 千 枝(静岡大学) Chie Sawatari	鋤 柄 佐千子(京都工芸繊維大学大学院) Sachiko Sukigara	高 寺 政 行(信州大学) Masayuki Takatera
	武 野 明 義(岐阜大学) Akiyoshi Takeno	趙 顯 或(釜山大学校) Hyun Hok Cho	登 阪 雅 聡(京都大学) Masatoshi Tosaka
	久 田 研 次(福井大学大学院) Kenji Hisada	菅 井 清 美(新潟県立大学) Kiyomi Sugai	山 根 秀 樹(京都工芸繊維大学大学院) Hideki Yamane
	吉 水 広 明(名古屋工業大学大学院) Hiroaki Yoshimizu	和 田 昌 久(京都大学大学院) Masahisa Wada	

The Society of Fiber Science and Technology, Japan (2014 & 2015)

President T. Kikutani (Tokyo Institute of Technology)

Vice-Presidents T. Kanaya (Kyoto University)

K. Hamada (Shinshu University)

H. Murase (Toyobo Co., Ltd.)

Member-promoting Officer M. Tokita (Tokyo Institute of Technology)

Editor in Chief “Sen’i to Kogyo” A. Tsuchida (Gifu University)

Editor in Chief “Sen’i Gakkaishi” K. Katsuraya (Wayo Women’s University)

Treasurers H. Oikawa (Tohoku University)

K. Ogino (Tokyo University of Agriculture & Technology)

K. Inomata (Nagoya Institute of Technology)

K. Hisada (University of Fukui)

H. Urakawa (Kyoto Institute of Technology)

K. Tanaka (Kyushu University)

Planning Officers T. Iwata (The University of Tokyo)

M. Aoyama (Toray Industries, Inc)

K. Katsuraya (Wayo Women’s University)

A. Tsuchida (Gifu University)

K. Ogino (Tokyo University of Agriculture & Technology)

開催年月日	講演会・討論会等開催名(開催地)	掲載頁
27. 2. 14(土)	第6回科学技術人材育成シンポジウムー科学技術コミュニケーションの展開と人材育成ー(東京都・日本学術会議講堂)	A6
2. 20(金)	特別講演会 繊維技術講座『標準化と安全規格』ー繊維のグローバル展開へのパスポートー(東京都・キャンパスイノベーションセンター)	A3
2. 20(金)	第46回CPD(繊維技術)講演会(大阪市・大阪産業創造館)	A5
2. 24(火)	繊維学会第178回被服科学研究委員会(公開)(東京都・大妻女子大学千代田校舎)	A5
2. 25(水)	第28回複合材料セミナーー永続的に成長可能な世界を実現する炭素繊維ー(東京都・コクヨホール)	A6
2. 27(金)	第210回ゴム技術シンポジウム「ゴムの衛生問題とその解決策」(東京都・東都ビル会議室)	A6
3. 2(月) 3(火)	第74回熱測定講習会ー初心者のための熱分析の基礎と応用ー～高分子材料と医薬品～(東京都・早稲田大学 理工(西早稲田)キャンパス)	A6
3. 6(金)	第146回講演会光学材料の最新技術動向(東京都・東京都立産業技術センター)	A7
3. 13(金)	第211回ゴム技術シンポジウム「高機能ゴム製品を支える新技術・基礎技術～ゴム配合・原材料の進化がここに！～」(東京都・東京電業会館)	A6
3. 18(水)	第3回日韓親善学術研究・講演会最新の高分子科学研究と相互理解(福島市・福島大学)	A5
3. 18(水)	第8回日本化学連合シンポジウム 資源リスクマネジメント～化学は何ができるか～(東京都・化学会館7階ホール)	A7
3. 28(土) ～ 6. 27(土)	JTCC 技術士二次試験受験講習会〈名古屋会場〉(名古屋市・JTCC 東海支部 榑木町事務所)(土曜日5回)	A7
4. 4(土) ～ 5. 30(土)	JTCC 技術士二次試験受験講習会〈東京会場〉(東京都・JTCC 関東支部事務所)(土曜日5回)	A8
4. 4(土) ～ 6. 6(土)	JTCC の TES 受験講習会〈名古屋会場〉(名古屋市・名古屋都市センター(金山))(土曜日7回)	A7
4. 4(土) ～ 6. 13(土)	JTCC の TES 受験講習会〈大阪会場〉(大阪市・大阪産業創造館)(土曜日7回)	A7
4. 4(土) ～ 6. 27(土)	JTCC 技術士二次試験受験講習会〈大阪会場〉(大阪市・大阪市立市民交流センターひがしよどがわ)(土曜日5回)	A7
4. 11(土) ～ 6. 20(土)	JTCC の TES 受験講習会〈福岡会場〉(福岡市・JR 博多シティ会議室)(土曜日7回)	A7
4. 16(木)	平成27年度繊維学会北陸支部学術普及講演会 高性能繊維の最新動向と産業への展開(福井市・福井県工業技術センター)	A4
5. 9(土) ～ 6. 27(土)	JTCC の TES 受験講習会〈東京会場〉(東京都・タワーホール船堀)(土曜日7回)	A7
11. 29(日) ～ 12. 2(水)	第5回世界工学会議(WECC2015)(京都市・国立京都国際会館)	A8
	繊維学会誌広告掲載募集要領・広告掲載申込書	平成22年6月号
	繊維学会定款(平成24年4月1日改訂)	平成24年3月号
	Individual Membership Application Form	平成24年12月号
	繊維学会誌報文投稿規定(平成24年1月1日改訂)	平成26年1月号
	訂正・変更届用紙	平成26年3月号

「繊維と工業」編集委員

編集委員長	土田 亮(岐阜大学)						
編集副委員長	髭谷 要(和洋女子大学大学院)	出口 潤子(旭化成せんい(株))					
編集委員	植野 彰文(KBセーレン(株))	大島 直久(東海染工(株))	金 翼水(信州大学)	小寺 芳伸(三菱レイヨン(株))			
	澤田 和也(大阪成蹊短期大学)	高崎 緑(宮城教育大)	寺本 喜彦(東洋紡(株))	西田 幸次(京都大学化学研究所)			
	西村 高明(王子ホールディングス(株))	増田 正人(東レ(株))	村上 泰(信州大学)	山田 秀夫(帝人(株))			
	吉田 耕二(ユニチカトレーディング(株))						
顧問	浦川 宏(京都工芸繊維大学大学院)						

平成26年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
特別講演会 繊維技術講座	平成27年 2 月20日(金)	CIC 田町(国際会議場)

平成27年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
平成27年度年次大会	平成27年 6 月10日(水)～ 6 月12日(金)	タワーホール船堀(東京都江戸川区)
第45回夏季セミナー	平成27年 7 月29日(水)～ 7 月31日(金)	北九州国際会議場(小倉)

平成 27 年度分 正会員年会費自動引落日のご連絡

年会費の自動引落しをお申込み頂いています正会員の皆様の口座からの年会費の自動引落日は

平成 27 年 4 月 27 日(月)

になりますのでご通知申し上げます。

正会員の皆様へメールアドレス登録のお願い

ご高承の通り、昨今、情報提供のための環境は大きく変化し、伝達ツールはその利便性から電子メールに代表される電子媒体が主なものになってきております。さらに伝えるべき情報量も増大している現状があります。本学会におきましても、各種情報を電子メールで提供したい、もしくは受領したいとの要望が多くなってきており、メールによる情報一斉配信(繊維学会本部行事のご案内など)は重要な会員サービスと考えられますので、会員の皆様の情報のご提供をお願いいたします。

なお、提供者の意志に基づいてご提供いただいた情報(またはその更新)につきましては、事務局と連携し HP 担当理事が責任を持って行うものといたします。また、繊維学会プライベートポリシーに則って、本人の同意なく第三者へ開示提供することはありません。

具体的な作業について説明いたします。

- 1) テンプレートとなるエクセルファイル(mail-template.xls)を繊維学会ホームページ(<http://www.fiber.or.jp/>)からダウンロードしてください(ダウンロードができない、またはご希望の場合は、その旨を「member-inform@fiber.or.jp」までお伝えください。添付ファイルで返送いたします)。
- 2) 必要事項をご記入後、ファイル名を「会員番号(12桁の数字のほうでお願いします).xls」と変えて保存してください。12桁の会員番号は学会誌の発送宛名シールに記載されております(例:00000xxxxx00)。
- 3) 作成したファイルを「member-inform@fiber.or.jp」までご送付ください。

なお、疑問点がございましたら、上記アドレスまでお問い合わせください。

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

(中法)学術著作権協会

TEL:03-3475-5618, FAX:03-3475-5619

E-mail: info@jaacc.jp

著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本会へご連絡ください。

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 FAX: 1-978-646-8600

特別講演会 繊維技術講座
『標準化と安全規格』
— 繊維のグローバル展開へのパスポート —

JIS や ISO などの規格は時はビジネスを左右するほどの影響を及ぼします。また、各国で定められた製品安全規格を知らずしてグローバルな経済活動は困難であり、研究開発の初期段階から安全衛生性を意識した開発が必要です。JIS・ISO などの標準化規格や内外の安全性規格の動向を基礎から学び、さらに新材料の標準化への取り組み状況について知る講演会を企画しました。繊維・高分子材料の世界展開のご参考になると期待しております。是非ご参加ください。

主 催：(一社)繊維学会

日 時：平成 27 年 2 月 20 日(金) 10:00～17:00

場 所：キャンパスイノベーションセンター(東京都港区芝浦 3-3-6)

〈交通〉JR 山手線・京浜東北線 田町駅(徒歩 1 分)、都営三田線・浅草線三田駅(徒歩 5 分)

プログラム

1. 10:00～10:10 開会挨拶
2. 10:10～11:00 「繊維分野における標準化戦略」 経済産業省製造産業局繊維課 水野 紀子氏
3. 11:00～11:50 「炭素繊維複合材料の JIS 化、ISO 化への取り組みについて(仮題)」
宇宙航空研究開発機構 航空本部 複合材技術研究センター 岩堀 豊氏
- 11:50～13:00 - 昼食休憩 -
4. 13:00～13:50 「セルロースナノファイバー国際標準化への取り組み」 産業技術総合研究所 小野 晃氏
5. 13:50～14:40 「ナノマテリアルの安全性確保のための法規制・標準化・研究開発の 10 年間」
東京大学 公共政策大学院 特任教授 岸本 充生氏
- 14:40～15:00 - 休憩 -
6. 15:00～15:50 「食品包材の安全性と法規制」 日本食品分析センター 多摩研究所包材試験課 中西 徹氏
7. 15:50～16:40 「衛生材料(紙おむつ)の安全性規格と ISO 標準化活動」
ユニ・チャーム株式会社 CSR 本部 宮澤 清氏
8. 16:40～16:50 閉会挨拶

(都合により、講演内容や時間を変更させていただくことがございます。ご理解のほどお願いいたします)

定 員：100 名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費：(消費税込み)

企業関係会員(含む維持・賛助会員)：10,000 円、企業非会員：15,000 円

大学官公庁関係会員：8,000 円、大学官公庁非会員：13,000 円

学生会員：3,000 円、学生非会員：5,000 円

申し込み：繊維学会ホームページ(<http://www.fiber.or.jp/jpn/index.html>)よりお申込みください。

参加費は現金書留又は銀行振込みでお支払いください。振り込み手数料は振込人にてご負担ください。

現金書留・銀行の領収書をもって本会からの領収書に代えさせていただきます。

(みずほ銀行目黒支店 普通口座 1894348 繊維学会講演会)

問い合わせ先：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

(一社)繊維学会 TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260

E-mail: office@fiber.or.jp

ホームページ: <http://www.fiber.or.jp/>

平成 27 年度繊維学会北陸支部学術普及講演会 高性能繊維の最新動向と産業への展開

炭素繊維をはじめとする高性能繊維を用いた複合材料は、世界が注目する未来の材料として、自動車産業、航空宇宙産業の他、多岐にわたる産業分野での活用が期待されています。北陸地域でも金沢工業大学革新複合材料研究開発センターが設立され、本地域の繊維産業が有する高い技術力を活かしたものづくりを推進しています。本講演会では、複合材料に関する最新の開発動向や実際の活用事例、今後の用途展開についてご講演いただきますので、是非ご参加くださいますようお願いいたします。また、4月16日～18日は、福井県工業技術センターの一般公開が開催されています。

主 催：繊維学会北陸支部

共 催：福井県工業技術センター、福井県繊維技術協会、日本繊維機械学会テクテキスタイル研究会

日 時：平成 27 年 4 月 16 日(木) 13:30～17:10

会 場：福井県工業技術センター 講堂

福井県福井市川合鷺塚町 61-10 TEL:0776-55-0664

交 通：JR 福井駅下車 路線バス(所要時間 約 25 分)

京福バス福井駅西口 10 番のりば 28 系統 運転センター線 つくしの団地下車(徒歩 3 分)

- | | | |
|----------------|--------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 13:30～13:35 | 開会挨拶 | 繊維学会北陸支部長 |
| 2. 13:35～14:25 | 欧州複合材料展「JEC Europe」2015 調査報告 | 福井県工業技術センター 笹山 秀樹 |
| 3. 14:25～15:15 | 炭化ケイ素系セラミック繊維「チラノ繊維」の特性および用途展開について | 宇部興産(株) 澁谷 昌樹 |
| 4. 15:25～16:15 | 刺繍技術を応用した強化繊維プリフォームとその実用例 | タジマ工業(株) 佐藤 良太 |
| 5. 16:15～17:05 | 量産電気自動車 BMW i3 車体への CFRP 適用とその背景及び展望 | 山根健オフィス代表(BMW Japan 技術顧問) 山根 健 |
| 6. 17:05～17:10 | 閉会挨拶 | 福井県工業技術センター 化学・繊維部長 |

定 員：120 名

参加費：1,000 円 (資料代として)

参加登録：4 月 10 日(金)までに会社名・所属・氏名・連絡先電話番号、メールアドレスをご記入の上、FAX(様式は裏面)、または電子メールで下記にお申し込みください。

申込先：福井県工業技術センター 化学・繊維部 岩下美和

TEL:0776-55-0664 FAX:0776-55-0665 E-mail: iwashita@fklab.fukui.fukui.jp

福井大学 大学院工学研究科 植松英之

TEL: 0776-27-9952 FAX:0776-27-8767 E-mail: uematsu@matse.u-fukui.ac.jp

第3回日韓親善学術研究・講演会 最新の高分子科学研究と相互理解

趣 旨：日本と韓国の高分子科学研究者の最新の研究紹介と相互理解めざす。アメリカ合衆国からも参加者もある。くわえて、産業界で活躍する方々と大学教官の交流の場とする。さらに、東北地域(特に福島市)の現状を知って頂く。

主 催：福島大学共生システム理工学類、繊維学会東北・北海道支部、接着学会東北支部

共 催：東北ポリマー懇話会、蔵前工業会福島県(東工大同窓会)支部、高分子学会東北支部

日 時：平成27年3月18日(水) 12:00~16:30(予定)

場 所：福島大学 募金記念棟第一会議室

第1部：講演

ソウル大学 Tae Jin Kang、大阪大学 明石 満、再生医工学バイオマテリアル研究所 赤池敏宏、東北大学 及川英俊、福島大学 金澤 等、山形大学 川口正剛、九州大学 Dr.ケビン White 他 日・韓で交渉中

第2部：東北・北海道地区の研究紹介

第3部：産業界からの講演

懇親会：あり(有料)

申込先：〒960-1296 福島市金谷川1番地
福島大学・共生システム理工学類
金澤研究室・稲田 文
TEL 024-548-8184
E-mail: inada_aya@yahoo.co.jp

実行担当者：金澤 等

TEL: 024-548-8184
E-mail: kana@sss.fukushima-u.ac.jp

繊維学会第178回被服科学研究委員会 (公開)

第178回の研究会は、東京藝術大学の稲葉政満先生をお招きして、「楮紙の世界ー太布、紙布、紙衣ー」をテーマに、下記の通りにおこないますので、ご参加くださいますようご案内いたします。

会員以外の方にも、積極的に参加を呼びかけていただければ幸いに思います。(参加費無料)

日 時：平成27年2月24日(火) 15:00~16:30

会 場：大妻女子大学千代田校舎D棟518教室

〒102-8357 東京都千代田区三番町12

〔交通〕JR中央線・都営新宿線・東京メトロ有楽町線・南北線

「市ヶ谷」駅下車 徒歩約10

東京メトロ半蔵門線「半蔵門」駅下車
徒歩約5分

東京メトロ東西線「九段下」駅下車

徒歩約12分

〔地図〕 http://www.gakuin.otsuma.ac.jp/university/access/map_chiyoda.html

講 演：「楮紙の世界ー太布、紙布、紙衣ー」

東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻教授 稲葉政満(保存科学)

内 容：楮繊維は平均繊維長が9mmあり、糸として太布をつくることも可能である。

その長い繊維を綺麗に水中に分散させて漉き上げて楮紙は作られる。講演では伝統的な紙漉技術の紹介、その発展形としての機械漉、機能紙まで幅広く紹介する。

交流会：委員会終了後、参加者の交流会(17:00~19:00)を予定しています。

〔会場〕未定 大学近隣

〔会費〕4,000円(予定)

申し込み：交流会参加の有無も含めて、2月10日までに下記へお申し込みください。

大妻女子大学 平井郁子

〒102-8357 東京都千代田区三番町12

TEL&FAX: 03-5275-6022

E-mail: i-hirai@otsuma.ac.jp

第46回CPD(繊維技術)講演会

主 催：日本繊維技術士会近畿本部 繊維部会

日 時：平成27年2月20日(金) 13:30~16:30

場 所：大阪産業創造館 5階 研修室E(大阪市中央区本町1-4-5)

プログラム：

・「炭素繊維をキーマテリアルとする新産業創出の取り組み」 石川県工業試験場 山本 孝

・「次世代環境調和型デジタルプリントシステムの開発」 京都市産業技術研究所 早水 督

問合せ先：〒541-0051 大阪府中央区備後町3-4-9

輸出繊維会館内6階

(一社)日本繊維技術士センター

(JTCC)本部事務所

TEL: 06-6484-6506 FAX: 06-6484-6575

E-mail: mail:jtcc@nifty.com

第6回科学技術人材育成シンポジウム — 科学技術コミュニケーションの 展開と人材育成 —

主 催：日本工学会 科学技術人材育成コンソーシアム

日 時：平成27年2月14日(土) 13:00~17:00

場 所：日本学術会議講堂(港区六本木7-22-34)

参加料：無料

プログラム：

基調講演「科学・技術コミュニケーションの展開」

東京大学 横山広美

講演「科学技術コミュニケーションの政策に関する

情報提供」 文部科学省 松尾泰樹

「科学技術コミュニケーション活動の実態」

科学技術振興機構 藤田尚史

「専門家と世間のコミュニケーション

— 大学の実力調査から」 読売新聞社 松本美奈

「自然現象の見える化の必要性」

早稲田大学 小峯秀雄

パネル討論：「これからの科学技術コミュニケーション
と人材育成」

コーディネーター：

コンソーシアム副代表 衣田照彦

- ・「民間航空機用ガスタービンエンジンの技術開発と
CF 複合材料」 ロールスロイスジャパン 小山大祐
- ・「BMW-Automotive CFRP-Production」

BMW AG Dr. Jochen Kopp

問合せ先：日本化学繊維協会炭素繊維協会委員会

複合材料セミナー事務局

(中央区日本橋本町3-1-11 繊維会館7F)

TEL：03-3272-7108

ホームページ：<http://www.carbonfiber.gr.jp/>

第210回ゴム技術シンポジウム 「ゴムの衛生問題とその解決策」

日 時：平成27年2月27日(金)

場 所：東都ビル会議室(港区元赤坂1-5-26)

第211回ゴム技術シンポジウム 「高機能ゴム製品を支える新技術・基礎技術 ～ゴム配合・原材料の進化がここに！～」

日 時：平成27年3月13日(金)

場 所：東京電業会館・地下ホール(港区元赤坂1-7-8)

問合せ先：(一社)日本ゴム協会(港区元赤坂1-5-26)

担当：中川

TEL：03-3401-2957 E-mail：nakagawa@seij.or.jp

第28回複合材料セミナー — 永続的に成長可能な世界を 実現する炭素繊維 —

主 催：日本化学繊維協会炭素繊維協会委員会

日 時：平成27年2月25日(水) 10:00~17:15

(17:30~懇親会)

場 所：コクヨホール

(港区港南1-8-35 TEL：03-3450-3712)

プログラム：

- ・「PAN系炭素繊維の現状と将来」

東邦テナックス 乾 秀桂

- ・「ピッチ系炭素繊維の現状と将来」

三菱樹脂 中越 明

- ・「PAN系炭素繊維の発明」

産業技術総合研究所 進藤昭男

- ・「複合材料に関する経済産業省の取組について」

経済産業省繊維課長 寺村英信

- ・「RTMを中心としたCFRP成形ならびに加工技術紹介」

カドコーポレーション 倉谷泰成

- ・「重工系用途からCFRP技術への要求」

ジーエイチクラフト 郷家正義

- ・「CFTPの現状とクラスター・連携活動による

適用技術開発について」 金沢工業大学 鶴沢 潔

第74回熱測定講習会 — 初心者のための熱分析の基礎と応用 — ～高分子材料と医薬品～

主 催：日本熱測定学会

日 程：平成27年3月2日(月)、3日(火)

場 所：早稲田大学 理工(西早稲田)キャンパス

プログラム：

3月2日

- ・「熱測定の基礎」

日本大学 藤森裕基

- ・「熱分析装置と原理」

パーキンエルマージャパン 辻井哲也

- ・「高分子材料の熱分析」

首都大学東京 吉田博久

- ・「医薬品の熱分析」

星薬科大学 米持悦生

- ・熱分析機器メーカーによるテクニカルノウハウの個別
相談他

3月3日

- ・実習オリエンテーション

・実習 1、実習 2、機器見学、個別相談

問合せ先：日本熱測定学会 事務局
(千代田区岩本町 1-6-7 宮澤ビル 601)
TEL: 03-5821-7120
E-mail: natsu@mbd.nifty.com

・「都市鉱山：貴金属のリサイクリング」

田中貴金属工業 奥田晃彦・上田哲也

・「サイエンスコミュニケーション研究の広がり」

東京大学 横山広美

表彰式「化学コミュニケーション賞 2014」

交流会(17:15~19:00)

問合せ先：(一社)日本化学連合 事務局

TEL: 03-3292-6010 E-mail: ohashi@jucst.org

第146回講演会光学材料の最新技術動向

主 催：(一社)プラスチック成形加工学会

日 時：平成 27 年 3 月 6 日(金)

場 所：東京都立産業技術センター 2F

イノベーションハブ

(江東区青海 2-4-10 TEL: 03-5530-2111)

プログラム：

- ・「ポリマーの複屈折消去・制御と高画質ディスプレイへの応用」 慶應義塾大学 多賀谷明広
- ・「自動車用ポリカーボネート樹脂・樹脂グレーシングの開発動向」 帝人 帆高寿美昌
- ・「ナノインプリントによるマイクロレンズアレイ、ウェハレベルレンズの微細成形技術」 東芝機械 小久保光典
- ・「建築用ガラスに関する技術動向と求められるもの」 旭硝子 平松徹也
- ・「最近のタッチパネル&材料の技術動向」 タッチパネル研究所 板倉義雄
- ・東京都立産業技術センター光学関連部署の紹介と見学 (17:10~)

問合せ先：(一社)プラスチック成型加工学会 事務局

品川区大崎 5-8-5

グリーンプラザ五反田第 2-205

TEL: 03-5436-3822 FAX: 03-3779-9698

第 8 回日本化学連合シンポジウム 資源リスクマネジメント ～化学は何ができるか～

主 催：(一社)日本化学連合

日 時：平成 27 年 3 月 18 日(水) 13:00~19:00

場 所：化学会館 7 階ホール(千代田区神田駿河台 1-5)

プログラム：

- ・「エネルギー・気候変動リスクと日本の戦略」 日本エネルギー経済研究所 十市 勉
- ・「水資源の確保と国際標準化」 造水促進センター 大熊那夫紀
- ・「水素エネルギー その期待と課題」 新エネルギー・産業技術総合開発機構 大平英二

JTCC の TES 受験講習会

主 催：(一社)日本繊維技術士センター(JTCC)

〈大阪会場〉

期 間：平成 27 年 4 月 4 日~6 月 13 日(土曜日 7 回)

場 所：大阪産業創造館

申 込：JTCC 宛に FAX にて申し込みください。

FAX: 06-6484-6575

〈名古屋会場〉

期 間：平成 27 年 4 月 4 日~6 月 6 日(土曜日 7 回)

場 所：名古屋都市センター(金山)

申 込：JTCC 東海支部宛に FAX にて申し込みください。

FAX: 052-204-1469

〈東京会場〉

期 間：平成 27 年 5 月 9 日~6 月 27 日(土曜日 7 回)

場 所：タワーホール船堀(研修室ほか)

申 込：JTCC 関東支部宛に FAX にて申し込みください。

FAX: 03-5614-0103

〈福岡会場〉

期 間：平成 27 年 4 月 11 日~6 月 20 日(土曜日 7 回)

場 所：JR 博多シティ会議室 10 階(G+H)

申 込：JTCC 宛に FAX にて申し込みください。

FAX: 06-6484-6575

詳細は JTCC ホームページをご参照ください。

<http://jtcc.c.ooco.jp/>

JTCC 技術士二次試験受験講習会

主 催：JTCC 広報活動委員会

〈大阪会場〉

期 間：平成 27 年 4 月 4 日~6 月 27 日(土曜日 5 回)

会 場：大阪市立市民交流センターひがしよどがわ

申 込：JTCC 宛に FAX にて申し込みください。

FAX: 06-6484-6575

〈名古屋会場〉

期 間：平成 27 年 3 月 28 日~6 月 27 日(土曜日 5 回)

場 所：JTCC 東海支部榑木町事務所

申 込：JTCC東海支部宛にFAXにて申し込みください。

FAX: 052-204-1469

〈東京会場〉

期 間：平成 27 年 4 月 4 日～5 月 30 日(土曜日 5 回)

場 所：JTCC 関東支部事務所
(日本橋小伝馬町 滋賀ビル)

申 込：JTCC関東支部宛にFAXにて申し込みください。

FAX: 03-5614-0103

詳細は JTCC ホームページをご参照ください。

<http://jtcc.c.ooco.jp/>

技術士第二次試験の受験資格は日本技術士会ホームページを参照ください。

名古屋工業大学 生命・物質工学教育類 助教公募

募集案内：助教(任期 5 年) 1 名

担 当：大学院工学研究科物質工学専攻/工学部 第一
部生命・物質工学

専門分野：高分子科学

採用予定月日：平成 27 年 8 月 1 日以降出来るだけ早い時期

応募期限：平成 27 年 3 月 27 日(金)必着

応募条件等の問合せ先：

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

名古屋工業大学大学院 工学研究科 しくみ領域

物質工学専攻 猪股克弘 TEL: 052-735-5274

E-mail: inomata.katsuhiko@nitech.ac.jp

第 5 回世界工学会議(WECC2015)

<http://www.congre.co.jp/wecc2015/ja/>

主 催：公益社団法人 日本工学会、日本学術会議、世界
工学団体連盟、UNESCO

日 時：平成 27 年 11 月 29 日(日)～12 月 2 日(水)

場 所：国立京都国際会館(京都市左京区宝ヶ池)

* 当会議は、工学・工業の広範な領域における研究開発
の現状と将来像を各分野の指導的研究者・技術者を招
いてレビューするものであり、各企業・研究所におい
て今後の研究開発を行う上で参考となる諸分野の動向
を 3 日間にわたって展開いたします。

一般からの講演申込み締切日：平成 27 年 3 月 10 日(火)

会議参加予定者数 国内 1,700 人、国外 800 人

* 技術展示会は、会議に参加する海外からの参加者の大
半が、各国の政策立案・実施に関与または影響力を有
する WFEO 委員会の委員であることから、それらの
国々の方々とコネクションが得られます。

技術展示出展申込み締切日：平成 27 年 4 月 30 日(木)

技術展示会参加者数 5,000 人

上記の各情報の詳細は、会議Websiteをご覧ください。

問合せ先：公益社団法人 日本工学会 事務局 中畠 勉

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-2-2

東京理科大学森戸記念館 3F

TEL: 03-6265-0672

E-mail: nakajima@jfes.or.jp

東京農工大学大学院 農学研究院環境資源物質科学部門 テニュアトラック特任准教授公募

任 期：着任後 5 年(採用後 3 年目に中間評価を行い、
優れた者テニュア付与。

5 年目にテニュア付与の最終評価)

専門分野：環境資源物質科学(木材科学、植物機能材料科学)

勤務形態：常勤。独立した研究室運営

講義負担と学内管理業務は一定の範囲で軽減
スタートアップ資金の支給

応募締切：平成 27 年 3 月 24 日(火) 16 時

応募資格 & 応募方法等の問合せ先：

東京農工大学テニュアトラック推進機構事務局

URL: [http://www.tuat.ac.jp/~senryaku/koubo/tt/
form3.html](http://www.tuat.ac.jp/~senryaku/koubo/tt/form3.html)

E-mail: t-track@cc.tuat.ac.jp

お詫びと訂正

小誌 Vol. 71, No. 1 の賛助会員様のご氏名に誤植がありました。

(東洋紡株式会社 総合研究所)

誤

総合研究所長 種 田 祐 士 様

正

総合研究所長 上 乃 均 様

関係各位に多大なご迷惑をお掛け致しましたことをお詫び申し上げ、訂正をさせていただきます。